

平成27年度第2回青森市自動車運送事業運営審議会 会議概要

【開催日時】平成28年2月5日（金） 午前10時00分～

【場 所】青森市交通部東部営業所 2階 大会議室

【出席委員】平出道雄会長、柳谷章二副会長、秋田谷洋子委員、柿崎祥子委員、
工藤健委員、工藤弘毅委員、桜田清光委員、舘山善也委員、種市勲委員、
仲谷良子委員、原子睦子委員《計11名》

【欠席委員】金子牧子委員、千葉敏彦委員、福井正樹委員《計3名》

【事務局】交通部長 成田謙司、交通部管理課長 船橋正明、管理課副参事 新宅雅之、
管理課主幹 横内信造、同 木立圭史、同 矢野眞樹、東部営業所長 橘昭二郎、
西部営業所長 相馬秀廣

【会議次第】

1 開会

2 会議

(1) 平成28年度業務予定量（案）について

(2) 平成28年度の主な取り組みについて

①【新規】青森市営バス創業90周年記念事業（案）

②【変更】大型ノンステップバスの導入

(3) その他

議事概要

(1) 平成28年度業務予定量（案）について

⇒「資料①」を基に、事務局より説明

《質疑応答》

○委員

年間輸送人員が約8万人減少しているが、収入の減少見込はどうか。

○事務局

平成28年度予算要求段階では、平成27年度当初予算と比較し、約1,900万円の減と見込んでいる。

○委員

35路線のうち、黒字路線はどれだけあるのか。平成29年に予定されている消費税率の変更にあわせ、運賃の値上げはあるのか。

○事務局

現在は5路線が黒字路線となっている。

いまのところ、平成29年の消費税率変更の際には、税率上昇分のみの運賃値上げを予

定している。

○委員

支出予算のうち、人件費は大きな要素であるが、給与決定の方法はどのような考え方になっているのか。

○事務局

市の給与体系と同等となっている。

○委員

全国的に慢性的な運転士不足が問題となっているが、それに対する対応はどうか。

○事務局

(路線再編に合わせ)退職者不補充を継続してきたところであるが、計画以上に運転士の方の退職があったことから、来年度以降、現行ダイヤの維持が困難になることが見込まれたため、平成28年4月1日付採用予定の嘱託運転士の採用試験を行った。

20名の受験者のうち、13名を採用予定としている。

(2) 平成28年度の主な取り組みについて

①【新規】青森市営バス創業90周年記念事業(案)

⇒「資料②」を基に、事務局より説明。事業実施にあたり、委員より下記の提案があった。

《委員からの要望》

- 作成した小冊子の配布先に、町会・老人クラブも加えて欲しい。
- 清掃ボランティアは職員だけを予定しているようだが、一般市民も公募したらどうか。
- 大人向けのイベントを増やしたり、平日のフリールートカードを企画したらどうか。
- 利用者のアイデアを集める方法を取り入れてはどうか。
- パネル展では昔の切符やバスカードも展示したらどうか。
- ギャラリーバスでは、これまでの版画のほか、作文、絵画も展示したらどうか。
- 記念カードの通信販売を実施したらどうか。

②【変更】大型ノンステップバスの導入

⇒「資料③」を基に、事務局より説明。

《質疑応答》

○委員

大型、中型バスの定員、導入費用等を教えて欲しい。

○事務局

大型バスは定員70名、導入費用は2,900万円程度、中型バスは定員50名、2,200万円程度である。

○委員

関東地方では、2両が連なっている連節バスを見かけるが、本市では導入の予定があるか。

○事務局

道路状況や冬期間の降雪等、地域性から安全性が検証できていないので、導入は予定していない。

○委員

冬期間、バス路線の除排雪状況により、バスの遅れもあると思うが、どのように対応しているのか。また、バス停の除雪はどのようにしているのか。

○事務局

毎年、降雪前の11月頃に、各道路管理者（国、県、市）へ要望書を提出しているほか、冬期間は随時除排雪の連絡をしている。

バス停の除雪は、職員が直接巡回し除雪している。